

授業科目名・形態	セイフティマネジメント 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	菅原 富貴子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

国の医療安全対策の背景と取り組み、医療安全の基礎について学習し、組織としての安全管理体制とコミュニケーションの重要性を理解する。医療安全の基本的知識と用語を学び、ヒューマンエラーの種類・事故防止対策を認識し、リスク感性を培う。また、医療事故に伴う看護職の法的責任について理解する。

【到達目標】

- 1) 医療安全対策の概念と基本的知識を理解できる。
- 2) 安全を守るために、“すべき事” “してはならない事” 認識し、事故防止対策を考える事が出来る。
- 3) 医療安全におけるコミュニケーションの重要性を理解し活用できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 医療安全の概念・基本的知識と管理体制
- 第2回 医療事故から学ぶ医療安全対策・KYT（危険予知トレーニング）
- 第3回 看護業務の事故防止の考え方：診療の補助①
- 第4回 看護業務の事故防止の考え方：診療の補助②
- 第5回 看護業務の事故防止の考え方：療養上の世話
- 第6回 医療機関に於ける感染管理体制
- 第7回 職業感染と標準予防策
- 第8回 医療安全とコミュニケーション（グループワーク）

【授業実施方法】

講義形式

【授業準備】

指定された教科書に事前に目を通す。

【主な関連する科目】

「看護マネジメント論」「コミュニケーション」「感染と免疫」

【教科書等】

系統看護学講座 医療安全 看護の統合と実践 ②（医学書院）

【参考文献】

講義の際、適宜紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験 90% 授業態度等 10% を総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域の二次医療機関に於ける5年間の医療安全推進室・副室長の業務経験と、医療安全管理者の知識を活かし、具体的な事例を紹介しながら、医療安全に関する知識・技術を学ぶ機会とする。また、学生が危険予知能力を向上できる授業とする。

【学生へのメッセージ】

医療安全は、「医療の質向上」・「最良の医療サービス」とも謳われ、「安全な医療の提供」は医療従者の責務と考える。しかし、医療現場に於ける医療事故・職業感染を“0”にする事は極めて困難である。故に、「人は誰でも間違える」という認識の下、「間違えないための努力」を惜しまない姿勢が重要とされる。医療安全の必要性と重要性を、医療職（看護職）となる貴方自身の課題と認識し、在学中だけでなく、卒業後も恒常的に学ぶことを期待する。